

2023 年 5 月 12 日

2023 年 4 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は仕事量の減少もあり小ロット物件が中心で前年を大幅に下回った。

巻取は生損保、金融、チラシに動きがあり前年を上回ったものの、全体の荷動きとしてはあまり良くない状況であった。

（前年比 平判 83.3% 巻取 106.2%）

再生紙平判は入札案件の受注減少に加え、在庫不足や再生紙離れの定着により前年を大幅に下回った。

再生紙巻取は安定した大口案件がありほぼ前年並みに推移した。

（前年比 再生上質平判 64.1% 再生上質巻取 96.0% 再生上質計 79.2%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 87.4%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 59.0%）

<A2 コート>

平判はインバウンド需要や国内旅行、レジャー関連の印刷物、不動産チラシで動きがあり、マットは前年を上回った。

巻取はスーパーやドラッグストア、デリバリーの定期案件、不動産のスポットの動きはあったものの、目立ったスポット案件が無く、また学習塾等の教育関連、生損保、その他金融関連のチラシが大幅に落ち込んだ。引き続き出版関連の落ち込みも続いており、グロス、マット共に前年を下回った。

（前年比 平判 87.2% 巻取 91.8% 全体 88.1%）

（2019 年比 A2 コート計 67.3%）

<A3 コート>

食品スーパー、ドラッグストア、学習塾の定期的なチラシの動きはあったが、スポット案件の減少、生損保、金融関連の大幅な落ち込みがあり平判、巻取共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 85.5% 巻取 75.7% 全体 77.9%）

（2019 年比 A3 コート計 62.2%）

<ノーカーボン紙>

平判は案件が少ない上に仮需の消化が進んでおらず引き続き荷動きが低調だった。

巻取は一部保険の改定があり動きは見られたが、全般的に帳票の Web 化が進み前年を下回った。

（前年比 平判 74.2% 巻取 76.4%）

<上質フォーム>

前月及び前年の仮需反動により大幅に落ち込んだ。保険証カード台紙の動きが出始めたものの、納付書は月ズレで動きが鈍く前年を大幅に下回った。

(前年比 83.7%)

<包装用紙>

特殊両更は株式用、金融機関向け封筒の需要はあったものの、その他の用途の動きが見られず前年を大きく下回った。

(前年比 80.8%)

軽包装は繁忙期であった年度末の反動で製本会社向けの雑包装用途の動きが極めて悪かった。他の分野の包装用途で大口のスポットがあり好調だった前年を大きく下回った。

(前年比 59.1%)

片艶晒は全般的な在庫不足と片艶から他の用紙への変更が進み前年を大きく下回った。

(前年比 67.8%)

両更晒は金融機関向け封筒に一部動きがあったものの全般的には動きが鈍く前年を下回った。

(前年比 93.9%)

色クラフトは法人向け一般企業向け封筒に動きがあり前年を大きく上回った。

(前年比 111.8%)

純白ロールは GW の百貨店、大型商業施設への客足増加を見込んだ包装紙関連の在庫積み増しの動きがあり前年を大きく上回った。

(前年比 129.9%)

包装紙全体では 88.4%と前年を下回った。

<板紙>

コートボールは大型連休を前に、コロナ禍からの人流回復、インバウンドなどで土産品は堅調であった。

医薬関連もコロナ禍前に戻りつつある。

特板は卵不足の影響も多少あったが、菓子、ケーキのパッケージは比較的堅調であった。

高特板の POP 関連は未だ低調であるが、化粧品やトレーディングカードには動きがあった。

チップボールは価格修正の影響からエンタメ系が厚物から薄物、他品種へ移行していて低調であった。

昨年 3 月の価格修正の仮需の反動で 4 月が悪かったため、全体では前年を上回った。

(前年比 117.3%)